

1. 河川、砂防及び海岸・海洋部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 〇〇河川砂防環境詳細設計業務 砂防環境詳細設計1基 H=10m L=50m うち 工事用図面修正、数量算出、積算資料作成補助	〇〇〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 雪崩予防施設整備測量設計業務 うち 保安林解除協議図面作成補助	〇〇〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 〇〇川河川水辺の国勢調査(魚類) 〇〇川 うち 魚類の同定作業補助、トラップの設置 N=7	〇〇〇〇	→業務の贈元が不明 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 〇〇川災害調査委託 〇〇水系二級河川〇〇川	〇〇〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇川測量設計委託 〇〇水系二級河川〇〇川 築堤詳細設計 L=200m、現況河道の流下能力検討(河川断面数22) うち 水位解析、施工計画、図面作成一式	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇海岸環境整備事業(〇〇海岸:海岸保全区域) 海岸補強工事 L=240m、階段式コンクリート護岸	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇川護岸測量設計委託 〇〇水系普通河川〇〇川 詳細設計(両岸 計L=60 H=5m)、ブロック配置計画、各種施設設計	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇〇設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇川浸水想定区域図作成検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 不定流計算、氾濫計算、浸水想定区域図作成、浸水イメージ図作成、 関係自治体協議 ・(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム維持管理計画検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 アーチ式ダム H=72m、CoV=13万m3 管理計画の技術的指導、助言	〇〇〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム維持管理計画検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 アーチ式ダム H=72m、CoV=13万m3 ダムの維持管理計画(貯水池の調査計画、治水対策の検討)の技術的 指導、助言	〇〇〇〇	→業務内容が不明 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添4)

紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇河川砂防環境詳細設計業務 砂防環境詳細設計1基 H=10m L=50m うち 工事用図面修正、数量算出、積算資料作成補助	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 雪崩予防施設整備測量設計業務 <u>(〇〇地区)</u> うち 保安林解除協議図面作成補助 <u>対象区域A=7000㎡</u>	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 〇〇川河川水辺の国勢調査(魚類) <u>〇〇水系一級河川〇〇川</u> うち 魚類の同定作業補助、トラップの設置 N=7	〇〇河川国道事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 〇〇川災害調査委託 〇〇水系二級河川〇〇川 うち <u>河川災害査定に伴う現地調査、浸水箇所調査20箇所、協議資料作成</u>	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇川測量設計委託 〇〇水系二級河川〇〇川 築堤詳細設計 L=200m、現況河道の流下能力検討(河川断面数22) うち <u>一次元不定流計算による水位解析、河道掘削段施工計画、護岸基本図作成</u>	〇〇県〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇海岸環境整備事業(〇〇海岸:海岸保全区域) 海岸補強工事 L=240m、階段式コンクリート護岸 <u>施工工程管理、出入形管理、出来高生産</u>	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇川護岸測量設計委託 〇〇水系普通河川〇〇川 <u>連続ブロック護堤詳細設計(両岸 計L=60 H=5m)、カワヤシ並木植</u> ブロック配置計画、 <u>川面幅削部削非道設計、スロープ1カ所</u>	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇川浸水想定区域図作成検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 <u>一次元不定流計算(汎濫水程を考慮)、一次元汎濫計算、浸水想定区</u> 域図作成、浸水イメージ図作成、関係自治体協議	〇〇河川事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム維持管理計画検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 アーチ式ダム H=72m、CoV=13万m3 <u>ダムの維持管理計画(貯水池の調査計画、治水対策の検討)の技術的</u> 指導、助言	〇〇機構	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

2. 港湾及び空港部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

		認定対象者の氏名	〇〇 〇〇
期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称 契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 地方港湾〇〇港湾補修事業に伴う設計業務 防波水門 B=12m×2 H=6m、陸開3箇所 B=6~24m H=2.5m うち 防波水門補修・復旧設計(施工工程検討、図面作成、数量計算)	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 地方港湾〇〇海岸保全施設整備事業に伴う設計業務 うち 公有水面埋立事前申請書作成一式	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 地方空港〇〇空港整備交付金事業に伴う設計業務 旅客ターミナル A=3400㎡、スポット増設、停留所移設 うち 搭乗橋2基増設設計(現地調査、図面作成、数量計算)	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇海岸基本設計業務 漁港外海岸整備 L=230m	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 第二種漁港〇〇漁港地域水産物供給基盤事業に伴う設計 対象地区面積 A=1500㎡、3施設 床面積計A=930㎡、エプロン、荷揚げクレーン2基 うち 物揚場設計、施設設計	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇港湾浚渫工事 対象面積A=3800㎡ 計画水深D=15m 浚渫土量 V=2100㎡、ポンプ船浚渫	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営〇〇海浜公園保全施設整備事業 護岸延長L=230m 対策工設計、防災浮橋設計	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 高潮対策事業〇〇地区設計業務 ケーン式高潮防波堤L=970m 平均 敷設水深D=23m 開口部水路幅W=80m 基本設計、付帯施設設計、報告書作成の照査 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇空港需要予測検討業務 旅客数200万人/年 貨物取扱い量10万ト ン/年 発着回数5万回/年 各種計画の効率化・最適化検討、技術提案に関する各技術的指導	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)		

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領

- 「業務の内容」の欄を、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した
業務について、具体的に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

		認定対象者の氏名	〇〇 〇〇
期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称 契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 地方港湾〇〇港湾補修事業に伴う設計業務 防波水門 B=12m×2 H=6m、陸開3箇所 B=6~24m H=2.5m うち 防波水門補修・復旧設計(施工工程検討、図面作成、数量計算)	(株)〇〇センター 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 地方港湾〇〇海岸保全施設整備事業に伴う設計業務 <u>埋立計画面積</u> <u>A=5,710㎡ 平均水深D=17m</u> うち 公有水面埋立事前申請書作成一式	〇〇県〇〇港湾局 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 地方空港〇〇空港整備交付金事業に伴う設計業務 旅客ターミナル2 <u>棟建て増設延べA=3400㎡、スポット増設2箇所、ターミナル前道路幅</u> <u>を停留所移設2箇所</u> うち 搭乗橋2基増設設計(現地調査、図面作成、数量計算)	〇〇県航空政策局 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇海岸基本設計業務 漁港外海岸整備 L=230m うち <u>防波水門基本設計(護岸法設計、天端高検討)</u> <u>測量立</u> <u>会、地質調査ボーリング立会</u>	(株)〇〇 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 第二種漁港〇〇漁港地域水産物供給基盤事業に伴う設計 対象地区面積 A=1500㎡、3施設 床面積計A=930㎡、エプロン、荷揚げクレーン2基 うち <u>物揚場設計、施設配置計画、施設設計、護岸の永続性及び変</u> <u>動状態の安定性等の照査</u> 、施設設計	〇〇県〇〇市 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇港湾浚渫工事 対象面積A=3800㎡ 計画水深D=15m 浚渫土量 V=2100㎡、ポンプ船浚渫 <u>現場監理(施工工程管理、ソナーによる出来高確認)</u>	〇〇局〇〇管理局 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営〇〇海浜公園保全施設整備事業 護岸延長L=230m <u>護岸保全対策、耐震検討および対策工設計、防災浮橋構設計、(設計監</u> <u>査、数量決定、工法の比較検討)</u>	〇〇県〇〇局 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 高潮対策事業〇〇地区設計業務 ケーン式高潮防波堤L=970m 平均 敷設水深D=23m 開口部水路幅W=80m 基本設計、 <u>(設計計画、土質資料解析、永続性及び変動状態の安定性</u> <u>等の照査)</u> 、 <u>細部設計(付帯施設設計)</u> 、報告書作成の照査	〇〇県〇〇港湾管理事務所 〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇空港需要予測検討業務 旅客数200万人/年 貨物取扱い量10万ト ン/年 発着回数5万回/年 <u>需要予測調査及びそれに伴う経路計画効率化、最適化の検討、技術提</u> <u>案に関する各技術的指導</u>	〇〇県〇〇空港振興局 〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)		

記載要領

- 「業務の内容」の欄を、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した
業務について、具体的に記載すること。

証明者と被証明者との関係
(証明を得ることができないときはその理由)

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

3. 電力土木部門

(第1別添)

業務内容の記載が曖昧な悪い事例

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇原発第3号機建設事業(第II期) 加圧水型軽水炉、80万kW、基盤整備 うち 切土基盤整備工事監理支援、土砂搬出入岸壁建設工事監理支援		→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇発電所第4号機設計業務 うち 建設予定箇所現地踏査、地盤調査、地質定数算定		→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇町風力発電施設適地検討業務 観測施設 うち 観測施設設置工事立会、風況観測およびデータ収集ととりまとめ		→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇第二発電所復水器更新に伴う環境影響評価検討業務 地熱発電P=3万kw		→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区小水力発電計画策定業務 流れ込み式下掛け発電施設基本設計 P=200kw、H=5m、Q=0.5m³/s うち 各種計算、算定一式		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇ガス〇〇製造所発電施設第III期設計業務 ランケン方式冷熱発電、出力6000kw、変電・送電施設、管理棟増床		→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇線設計業務 15.47V、L=3.5km 鉄塔19基(うち環境調和型鉄塔7基計1.3km) 設計、解析、計画策定		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇ダム点検診断業務 多目的重力式ダム H=95m 有効貯水容量V=8460万m³、発電出力4000kw 堤体、扉体、放流施設、水圧鉄管の診断及び検討 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇工場発電用発電基礎調査 可燃塵芥使用発電 うち 事例調査対象の選択、出力および熱量の概算、コスト計算の各技術的助言		→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				
証 明	上記のとおり実務経験を有することを確認し、平成〇年〇月〇日	との関係			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事したことを記載すること。

(第1別添)

用紙A4)

業務内容の記載が明確な良い事例

青字は「悪い事例」との違い

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現場技術 〇〇原発第3号機建設事業(第II期) 加圧水型軽水炉、80万kW、基盤整備 うち 切土基盤整備工事監理支援、土砂搬出入岸壁建設工事監理支援	(株)〇〇組	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇発電所第4号機設計業務 ガス水カコンバインドサイクル、31万kw うち 建設予定箇所現地踏査、地盤調査、地質定数算定	〇〇電力(株)	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇町風力発電施設適地検討業務 風況観測施設設置 うち 観測施設設置工事立会、風況観測およびデータ収集ととりまとめ	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇第二発電所復水器更新に伴う環境影響評価検討業務 地熱発電P=3万kw うち、限り動植物(特定重要種)の分布調査=3km²、冷却排水処理基	(株)〇〇調査	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区小水力発電計画策定業務 流れ込み式下掛け発電施設基本設計 P=200kw、H=5m、Q=0.5m³/s うち 電力計算、新設工事費算定	〇〇市産業振興課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇ガス〇〇製造所発電施設第III期設計業務 ランケン方式冷熱発電、出力6000kw、変電・送電施設、管理棟増床 施設基礎整備工施工管理、出来形品質管理、現場安全管理	(株)〇〇ガス	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇線設計業務 15.47V、L=3.5km 鉄塔19基(うち環境調和型鉄塔7基計1.3km) 鉄塔基礎設計、構造設計および解析、施工計画策定	〇〇電力(株)〇〇事業所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇ダム点検診断業務 多目的重力式ダム H=95m 有効貯水容量V=8460万m³、発電出力4000kw 堤体、扉体、放流施設、水圧鉄管の 劣化診断及び長寿命化の検討	〇〇公団	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇工場発電用発電基礎調査 可燃塵芥使用発電 うち 事例調査対象の選択、 電力および必要可燃物量の概算、LCC計算 の各技術的助言	〇〇市環境整備企業局	〇〇, 〇〇〇	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				
証 明	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。平成〇年〇月〇日	との関係		証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)	
証 明	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男				

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又はを詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事したことを記載すること。

4. 道路部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇幹道橋詳細設計業務(3種3級、W=18m) うち 部材数量算出、詳細設計図面作成、積算資料作成	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇町内道路標識変更調査設計業務 うち 道路標識設置位置確認作業、視認性確認	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 県道〇〇号〇〇交差点交通量調査(主要地方道) うち 交通量調査(12時間) 〇〇聞き取り調査100件	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 国道〇〇号〇〇バイパス詳細設計業務(3種3級、W=15m) 道路詳細設計 L=200m	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線〇〇交差点設計業務(3種1級、W=35m) 平面交差点詳細設計、道路横断面渠設計(地下歩道B=4.0m、H=2.0m) うち 各種設計、協議資料作成	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区砂防堰堤詳細設計業務 工事用道路(L=260m W=5m 待避所2カ所)	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 町道〇〇線道路概略設計(3種4級、W=10m) 代幹線比較検討、工事費算出、作業量検討	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市ITS導入検討業務 BRTシステム 施策による影響、効果の調査検討、コスト解析、バス事業における活用方法の検討、報告書照査 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県道〇〇号維持管理業務(3種5級 W=5m) 道路舗装点検(L=200m) 路面性状の評価方法指導	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

(第1別添)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇幹道橋詳細設計業務(3種3級、W=18m) うち 部材数量算出、詳細設計図面作成、積算資料作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇町内道路標識変更調査設計業務(<u>4種4級</u>) うち 道路標識設置位置確認作業、視認性確認	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 県道〇〇号〇〇交差点交通量調査(<u>4種3級 W=10m</u>) うち 交通量調査(12時間) 〇〇聞き取り調査100件	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 国道〇〇号〇〇バイパス詳細設計業務(3種3級、W=15m) 道路詳細設計 L=200m <u>うち 組立構成検討、道路照明設置箇所の検討 N=10、ガードレール設計L=200m</u>	〇〇国道事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線〇〇交差点設計業務(3種1級、W=35m) 平面交差点詳細設計、道路横断面渠設計(地下歩道B=4.0m、H=2.0m) うち <u>河道とのすり付け部設計、現況設計、協議資料作成</u>	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区砂防堰堤詳細設計業務 工事用道路(L=260m W=5m 待避所2カ所) うち <u>施工監理、工程管理、出来形管理</u>	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 町道〇〇線道路概略設計(3種4級、W=10m) <u>ルート比較検討3案 L=1500m、概算工事費算出、切土盛土バランス検討、河川横断2カ所</u>	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市ITS導入検討業務 BRTシステム ITS導入による影響、効果の調査検討、 <u>コスト</u> 解析、バス事業における活用方法の検討、報告書照査	〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県道〇〇号維持管理業務(3種5級 W=5m) 道路舗装点検(L=200m) <u>ひび割れ、わがち掘れ、縦断凹凸</u> の評価方法指導	〇〇県〇〇部	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

5. 鉄道部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添

4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇電鉄委託〇〇跨線橋基礎整備工事 L=330m、B=33m 、8径間連続合成桁橋新設 うち 部材数量算出、積算資料作成	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇鉄道〇〇駅ホームドア設置工事 うち 設置位置確定測量、架台設置位置確定測量	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇電鉄〇〇線踏切設備台帳整理業務 各種踏切 うち 台帳記載内容の確認及び更新作業、現地踏査	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇川北橋工事に伴う〇〇橋付替設計業務 総延長L=345m W=3.3m (下路式単線ワレントラス)	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇国〇〇市〇〇モノレール第1期区間標準駅舎基礎設計業務 懸垂式、延長L=120m、高架3層構造、計8駅 うち 施設配置設計、旅客導線検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇新幹線〇〇保線区〇〇トンネル保線作業 電車線およびトロリ軌 置換、L=8000m	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇車両工場改修詳細設計業務 積装作業線L=220m A=3000m ² 代替施設配置検討、更新設備の配置検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	- (株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄デジタルATC導入計画およびCTC設備検討業務 費用対効果の検討、既存システムとの整合・競合現地確認、各種機器 設置箇所比較検討 - (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇鉄道〇〇線乗入れに伴う運行計画基礎検討業務 うち 情報伝達手法検討、運転手研修内容の検討の各技術支援	→業務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することを確認する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明者)	

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添

(用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇電鉄委託〇〇跨線橋基礎整備工事 L=330m、B=33m 、8径間連続合成桁橋新設 うち 部材数量算出、積算資料作成	〇〇電鉄ホールディング ス(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇鉄道〇〇駅ホームドア設置工事 <u>L=210m×4箇所</u> うち 設置位置確定測量、架台設置位置確定測量	〇〇鉄道(株)〇〇事業所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇電鉄〇〇線踏切設備台帳整理業務 踏切 <u>1箇所(うち橋内踏切4箇所)</u> うち 台帳記載内容の確認及び更新作業、現地踏査	(株)〇〇電鉄工務部	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇川北橋工事に伴う〇〇橋付替設計業務 総延長L=345m W=3.3m (下路式単線ワレントラス) うち <u>河川橋脚資料作成</u>	(独)〇〇公団	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇国〇〇市〇〇モノレール第1期区間標準駅舎基礎設計業務 懸垂式、延長L=120m、高架3層構造、計8駅 うち <u>ホーム及び改札口の施設配置設計、旅客導線検討</u>	(独)〇〇機構	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇新幹線〇〇保線区〇〇トンネル保線作業 電車線およびトロリ軌 置換、L=8000m うち <u>現場安全確認、軌道管理者との連絡調整</u>	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇車両工場改修詳細設計業務 積装作業線L=220m A=3000m ² 代替留置線の配置検討、更新設備 <u>(天北クレーン、床下車輪駆動装置 確認装置)</u> の配置検討	〇〇旅客鉄道(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄デジタルATC導入計画およびCTC設備検討業務 費用対効果の検討、既存システムとの整合・競合現地確認、各種機器 設置箇所比較検討	〇〇信号(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇鉄道〇〇線乗入れに伴う運行計画基礎検討業務 うち <u>運行遅延時の情報伝達手法検討、運転手研修内容の検討の各技 術支援</u>	〇〇線相互直通事業コン ソーシアム	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ない ことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明者)	

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

6. 上水道及び工業用水道部門

(第1号
別添4)

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 課長 〇〇団地内配水管増設工事および修正設計委託 総延長=300m グラ タイル鈔鉄管φ250mm うち 配水管布設設計、施工(推進工法)数量算出、出来高管理	〇〇〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇台1丁目配水管更新工事設計業務 うち 布設計画図作成、道路占用許可申請書作成、周辺住民への工事 案内パンフレット作成	〇〇〇〇	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川水道水利用許可更新申請書作成業務 水利権 うち 水利使用許可更新申請の水利計算(河床変動を考慮した1次 元不等流)のための河床材料調査、結果とりまとめ	〇〇〇〇	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係長 補助担当者 〇〇工業用水節水計画 受益者89企業、最大供給量V=11820m ³	〇〇〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇工業用水仮送水管路測量設計業務委託 路線測量L=4.1km、φ 600mm×2 L=1100m うち 代替案検討、各種算出、資料作成一式 該当部報告書執筆	〇〇〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 現場代理人 〇〇浄水場工事 RC造沈砂池430m ³ RC造急流濾過池500m ³ RC造沈 砂池8000m ³ 送水ポンプ55kw×3台 消毒設備、RC造管理棟	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇配水池改修工事設計業務委託 A=5200m ² V=6000m ³ ×2池 管路現況調査と改修設計、各種施設設計、耐震解析・設計、非常用機 器の耐震補強設計と移設設計、施設耐震化検討	〇〇〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇地区簡易水道施設維持修繕計画策定業務 供給面積A=15ha 給水人口450人 総延長L=80km 送水ポンプ30kw×2台 マニュアル作成、将来計画、効果分析 1式	〇〇〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 副社長 技術統括 水管橋(〇〇橋)耐震補修計画業務 3径間トラスL=120m、管φ 700mm、現地調査、耐震・補修各詳細設計、管接続部可換化、管理計 画策定 うち これらに関する技術的指導、助言、代替案の提案	〇〇〇〇	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのが具体的に記載してください
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

(第1号
別添4)

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

用紙A4)

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 課長 現場技術 〇〇団地内配水管増設工事および修正設計委託 総延長=300m グラ タイル鈔鉄管φ250mm うち 配水管布設設計、施工(推進工法)数量算出、出来高管理	〇〇(株)	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇台1丁目配水管更新工事設計業務 φ200mm 合計L=480m うち 布設計画図作成、道路占用許可申請書作成、周辺住民への工事 案内パンフレット作成	(株)〇〇不動産	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川水道水利用許可更新申請書作成業務 水利権 V=0.603m³/秒× 5年、最大取水量V=51500m³ うち 水利使用許可更新申請の水利計算(河床変動を考慮した1次 元不等流)のための河床材料調査4回、結果とりまとめ	〇〇市水道局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係長 補助担当者 〇〇工業用水節水計画 受益者89企業、最大供給量V=11820m ³ うち 直近20ヶ年間に於ける取水先河川流量と取水量の相関調査、全 受益者に対する過去の水利利用実態調査(アンケートとトリアリング)	〇〇県〇〇水道企業団	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇工業用水仮送水管路測量設計業務委託 路線測量L=4.1km、φ 600mm×2 L=1100m うち 道路仮設方法代替案検討、事業費算出、発注者協議・住民説 明の資料作成およびその実施 該当部報告書執筆	〇〇水道企業団	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 現場代理人 〇〇浄水場工事 RC造沈砂池430m ³ RC造急流濾過池500m ³ RC造沈 砂池8000m ³ 送水ポンプ55kw×3台 消毒設備、RC造管理棟 うち、現場監理一式(基盤および外構工事を除く)	〇〇県〇〇水道局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇配水池改修工事設計業務委託 A=5200m ² V=6000m ³ ×2池 配水池敷地内の管路現況調査と改修設計、中継ポンプおよび上層設 計、配水池耐震解析・設計、非常用発電機架台の耐震補強設計と貯池 タンク移設設計、高圧受電施設耐震化検討	〇〇市〇〇水道部	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇地区簡易水道施設維持修繕計画策定業務 供給面積A=15ha 給水人口450人 総延長L=80km 送水ポンプ30kw×2台 図録マニュアル作成、将来計画、費用・便益分析 1式	〇〇市〇〇農村振興課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 副社長 技術統括 水管橋(〇〇橋)耐震補修計画業務 3径間トラスL=120m、管φ 700mm、現地調査 (係長部監理調査2回併し)、上部工耐震・上部工補 修各詳細設計、管接続部可換化、維持管理計画策定 うち これらに関する技術的指導、助言、代替案の提案	〇〇県〇〇市〇〇課	〇〇,〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ない
ことを証明する。

平成〇年〇月〇日
証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇〇男

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

7. 下水道部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添)

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇市〇〇町地下下水道協議面作成業務 うち 協議面作成、協議実施(説明者)		→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区下水道管渠改築実施設計業務委託 うち 現況調査(管渠内踏査L=3,410m)、点検マニュアル作成		→業務の踏元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇市内汚水管渠布設実施設計測量業務委託 L=140m D≦200mm うち 路線測量L=190m、地質調査、試験場		→業務の踏元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 公共下水道〇〇地区整備事業 縦坑N=6箇所 H=6.0m、小口径管泥水 式推進工法L=500m φ300mm		→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 公共下水道(〇〇工区)施工管理業務 開削L=795m □600×400mm、 簡易推進L=450m φ80mm うち 施工計画および計画図作成		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇県東部流域下水道幹線更生工事 総L=3100m φ1200mm、形成工 法		→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 公共下水道(〇〇処理分区)汚水管渠実施設計業務委託 小口径推進 工法φ300~250mm L=325m 土質調査、地下探査、工法詳細検討		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇町地区下水道施設 開削L=400m 推進L=300m 復旧設計、マンホール復旧(N=123) 検討		→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇市〇〇漁業集落排水処理施設改修工事実施設計業務 開削L=400m 排水処理施設N=2基 実施設計(詳細設計) 指導、技術的助言		→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添)

(用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇市〇〇町地下下水道協議面作成業務 うち 協議面作成、協議実施(説明者)	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区下水道管渠改築実施設計業務委託 <u>総延長L=3,410m (φ200 ~φ700mm) 簡易推進L=450m</u> うち 現況調査(管渠内踏査L=3,410m)、点検マニュアル作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇市内汚水管渠布設実施設計測量業務委託 開削工法L=140m 推進 工法L=50m 各D≦200mm うち 路線測量L=190m、地質調査1箇所、試験場3箇所	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 公共下水道〇〇地区整備事業 縦坑N=6箇所 H=6.0m、小口径管泥水 式推進工法L=500m φ300mm うち <u>土留工検討(簡易土留め)H=2.0m、管路勾配検討</u>	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 公共下水道(〇〇工区)施工管理業務 開削L=795m □600×400mm、 簡易推進L=450m φ80mm うち <u>汚水管渠施工計画および計画図作成</u>	〇〇県〇〇建設センター	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇県東部流域下水道幹線更生工事 総L=3100m φ1200mm、形成工 法 <u>現場管理、工務管理、住民対応(説明会を含む)</u>	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 公共下水道(〇〇処理分区)汚水管渠実施設計業務委託 小口径推進 工法φ300~250mm L=325m 土質調査1箇所、地下埋レーダー探査 <u>計L=70m</u> 、工法詳細検討	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇町地区下水道施設 開削工法(Δ1200mm未満)L=400m 推 進工法(小口径φ300mm)J=300m <u>協議実施復旧設計、マンホール復旧(N=123) 検討</u>	社団法人〇〇建設セ ンター 〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇市〇〇漁業集落排水処理施設改修工事実施設計業務 開削工法(φ1200mm未満)L=400m 排水処理施設(合併浄化槽) N=2基 下水道実施設計(詳細設計) 指導、技術的助言	〇〇県〇〇市下水道管理 課	〇〇, 〇〇〇	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

8. 農業土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

天 務 任 職 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇地区農道舗装実施設計業務 巾員B=4.0m、延長L=8km (大型車交通量15台以上、40台未満/日・方向) 農道舗装設計のうち 協議図面作成、協議実施 (説明者)	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区 広域農道整備事業単価契約図面作成業務委託 うち 分土工設計図面修正作業、資料収集	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 係長 作業員 農村振興総合整備事業〇〇地区 集落道、取水施設 うち 取水施設の設計に関わる①構造計算書諸元入力、②図面作成	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事務所 管理部 技師 補助技術者 〇〇揚水機場実施設計業務 〇〇川の低水路液添による推移低下に伴う改築検討を目的とした揚水機場 (Q=1.25m ³ /s×1 φ700mm)	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇ダム耐震化検討業務 ロックフィル式多目的ダム (H=32m 有効貯水量594万m ³ うち灌漑水利320万m ³) 耐震化工事実施設計のうち ゲートの耐震設計と設計図作成、ゲート駆動アクチュエータ耐震検討、機器免震化検討	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県営中山間地域農村活性化総合整備事業うち〇〇地区〇〇水路改築事業 用水路=1.5km (〇〇水路 計画用水量 Q=0.0328m ³ 〇〇水路 計画用水量 Q=0.115m ³)	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営かんがい排水事業〇〇地区 管水路L=12km、自然圧幹線パイプFRPMφ1300mm 土質調査、地下探査、工法比較・詳細検討	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇地区圃場整備測量設計業務 面積A=1.8ha、用水路L=100m、地盤調査N=2箇所 圃場整備設計、用水路設計 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県営経営体育成基盤整備事業〇〇地区 区画整理 (130ha) 区画整理実施設計 指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することと相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現場技術 〇〇地区農道舗装実施設計業務 巾員B=4.0m、延長L=8km (大型車交通量15台以上、40台未満/日・方向) 農道舗装設計のうち 協議図面作成、協議実施 (説明者)	〇〇県〇〇振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区 広域農道整備事業単価契約図面作成業務委託 分土工 (水) うち 分土工設計図面修正作業、資料収集	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 係長 作業員 農村振興総合整備事業〇〇地区 集落道 (幅=4.0m、L=300m)、取水施設 (〇〇池、増長50m、自然積立式排水) うち 取水施設の設計に関わる①構造計算書諸元入力、②図面作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事務所 管理部 技師 補助技術者 〇〇揚水機場実施設計業務 〇〇川の低水路液添による推移低下に伴う改築検討を目的とした揚水機場 (Q=1.25m ³ /s×1 φ700mm) うち 耐震設計図書作成、現地踏査、ポンプ設備確認、検査立案	〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇ダム耐震化検討業務 ロックフィル式多目的ダム (H=32m 有効貯水量594万m ³ うち灌漑水利320万m ³) 耐震化工事実施設計のうち 常用排水吐き ゲートの耐震設計と設計図作成、ゲート駆動アクチュエータ耐震検討、 操作室内機器免震化 検討	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県営中山間地域農村活性化総合整備事業うち〇〇地区〇〇水路改築事業 用水路=1.5km (〇〇水路 計画用水量 Q=0.0328m ³ 〇〇水路 計画用水量 Q=0.115m ³) HPAレスキュー工事監理、住居付代 (特開命ふ念付)	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営かんがい排水事業〇〇地区 管水路L=12km、自然圧幹線パイプFRPMφ1300mm 土質調査、 地下埋レーダー 探査N=4、 工法3種類比較 ・詳細検討	〇〇県〇〇振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇地区圃場整備測量設計業務 面積A=1.8ha、用水路L=100m、 地盤力 調査N=2箇所 圃場整備設計、用水路設計	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県営経営体育成基盤整備事業〇〇地区 区画整理 (130ha) 区画整理実施設計 (詳細設計) 指導、技術的助言	〇〇地区区画整理事業協同組合	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することと相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

9. 森林土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主任 〇〇地区緊急治山事業 コンクリート谷止工3基 V=1840m ³ H=10m L=40、スリットダム工1基 W=27t H=8m L=40m 治山ダム工事 うち 協議図面作成、協議実施(説明者)	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇課 研修社員 補助作業員 治山事業測量調査委託 うち 治山台帳等確認、施設位置確認・写真撮影	〇〇 〇〇	→業務の踏元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇係技師 作業員 森林経営計画策定業務 〇〇県県有林、県行造林の森林経営計画策定、造林及び保存の実施計画 うち 伐採、伐木量清算資料作成	〇〇 〇〇	→業務の踏元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 係長 補助技術者 治山(復旧) 〇〇地区〇〇沢事業 山腹工0.04ha、土留工(フロン 電)1基L19m H=2.0m 腐食性マット190m ² 、植栽工(コナラ)100本 山腹工の計画設計及び施工監理	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 係長 担当技術者 林道開設事業 〇〇線〇〇区測量・設計業務 1車線林道(1級) L=570m、W=5.0m うち 林道設計	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主査 現場代理人 〇〇営林事務所基礎工事 A=3.2ha 法面A=3200m ² 、軽量盛土、グラウ ンドアンカー工、周囲排水路工	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇営業所 営業所長 管理技術者 〇〇治山事業全体計画調査業務 全体計画調査730ha 治山計画策定	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 代表取締役社長 照査技術者 災害関連緊急治山委託(〇〇市〇〇町) 治山ダム(堤長80m 堤高 14m) 治山解析、治山ダム構造の4案比較検討	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 技術顧問 技術統括 自然災害防止事業〇〇地区測量設計業務 土留工L=150m、幅工H=4.5m L=85.0m、網工A=1140m ² 構造計算、図面作成 指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を 平成	との関係		

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主任 現地統括 〇〇地区緊急治山事業 コンクリート谷止工3基 V=1840m ³ H=10m L=40、スリットダム工1基 W=27t H=8m L=40m 治山ダム工事 うち 協議図面作成、協議実施(説明者)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇課 研修社員 補助作業員 治山事業測量調査委託 治山施設の現地状況の調査並びに今後の保守 点検計画のための基礎資料作成、治山施設点検115箇所(深開工80箇 所、山腹工35箇所) うち 治山台帳等確認、施設位置確認・写真撮影	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇係技師 作業員 森林経営計画策定業務 〇〇県県有林、県行造林(3200ha)の森林経 営計画策定、造林及び保存の実施計画 うち 伐採(主体開伐)、伐木量清算資料作成	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 係長 補助技術者 治山(復旧) 〇〇地区〇〇沢事業 山腹工0.04ha、土留工(フロン 電)1基L19m H=2.0m 腐食性マット190m ² 、植栽工(コナラ)100本 山腹工の計画設計及び施工監理 のうち、年間降雨量資料収集、流出 土量算定式作成	〇〇技術協会	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 係長 担当技術者 林道開設事業 〇〇線〇〇区測量・設計業務 1車線林道(1級) L=570m、W=5.0m うち 林道設計(敷設、舗装、交通安全施設の各設計)	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主査 現場代理人 〇〇営林事務所基礎工事 A=3.2ha 法面A=3200m ² 、軽量盛土、グラウ ンドアンカー工、周囲排水路工 施工監理、出水部管理	〇〇センター	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇営業所 営業所長 管理技術者 〇〇治山事業全体計画調査業務 全体計画調査730ha 国有林治山事業全体計画作成等に基づく治山計画策定(深達整備、土 砂流出抑制施設、林道免状計画)	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 代表取締役社長 照査技術者 災害関連緊急治山委託(〇〇市〇〇町) 治山ダム(鋼板堰体ウエー ル工法 堤長80m 堤高14m) 治山解析(調査資料の解析、地質断面図の作成)、治山ダム構造の4 案比較検討	〇〇局〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 技術顧問 技術統括 自然災害防止事業〇〇地区測量設計業務 土留工(カゴ鉄)L=150m、 流石防護 幅工H=4.5m L=85.0m、 流石防護 網工A=1140m ² 構造計算、 図面作成 指導、技術的助言	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ない ことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇〇設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

10. 水産土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添)

天 務 任 職 証 明 書

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○漁港第7波除堤設計委託業務 波除堤L=40m H=8~12m 直立消波ブロック式混成堤基本・実施設計 うち 数量算出 施工工程検討 積算補助	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○漁港広域漁港整備事業計画変更委託業務 うち 受益者アンケート調査、結果の整理	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○漁港航路標識調査設計委託業務 標識増設の実施設計、既存標識維持管理計画策定 うち 航路標識の事例調査と結果整理、既存標識の現状調査	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○漁港係留施設台帳作成委託業務	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○漁港交流センター事業計画書作成委託業務 うち 調査・結果整理一式、各種算出 効果分析	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○地区広域漁港製氷工場整備工事 製氷工場 A=320㎡	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○漁港船揚場改良設計業務 船揚場改良L=10m 各種船揚場改良設計一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	・(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○漁港津波対策詳細設計業務 防護施設実施設計L=275m 安全性照査、臨開設計N=3 W=6~16m、津波避難タワーH=6m A=330㎡、各設計照査 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○漁港ストックマネジメント費用対効果分析業務 効果分析、周辺水域の高度利用と水産物の安定供給への貢献度合いの検証方法指導	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのが具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領

- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>現地技術</u> ○漁港第7波除堤設計委託業務 波除堤L=40m H=8~12m 直立消波ブロック式混成堤基本・実施設計 うち 数量算出 施工工程検討 積算補助	○局○事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○漁港広域漁港整備事業計画変更委託業務 うち 受益者アンケート調査 <u>N=235</u> 、結果の整理	○県○事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○漁港航路標識調査設計委託業務 <u>航路標識増設7基の実施設計</u> 、既存 <u>浮体式</u> 標識維持管理計画策定 うち 航路標識の事例調査と結果整理、既存 <u>浮体式</u> 標識の現状調査	○県○部○課	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○漁港係留施設台帳作成委託業務 うち <u>現地調査(登録船、不法係留船、廃棄船、不法設置残存漁網)</u> 、 <u>既存台帳からの記載内容移し替え、右側欄書作成</u>	○県○局	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○漁港交流センター事業計画書作成委託業務 うち <u>アンケート調査・結果整理、事業規模及び工事量の算出</u> <u>費用対効果分析</u>	○事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○地区広域漁港製氷工場整備工事 製氷工場 A=320㎡ <u>現場監理</u> <u>出来形確認</u> <u>検査立会</u>	(株)○○	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○漁港船揚場改良設計業務 船揚場改良L=10m <u>プランニング設計</u> 、 <u>コンクリートブロック式護岸先端部増設改良</u> 、 <u>漁船揚場用L=10m設計</u>	(株)○○	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○漁港津波対策詳細設計業務 <u>漁港係留施設耐震実施設計L=275m</u> <u>耐震安全性照査</u> 、 <u>臨開設計N=3</u> W=6~16m、津波避難タワーH=6m A=330㎡、各設計照査	○(株)	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○漁港ストックマネジメント費用対効果分析業務 <u>費用対効果分析</u> 、 <u>(対策工事・便益算出)</u> 、 <u>周辺水域の高度利用と水産物の安定供給への貢献度合いの検証方法指導</u>	○県○課	○○, ○○○
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
証明者 (株)○×設計 代表取締役 ○田○男

記載要領

- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

証明者と被証明者との関係
(証明を得ることができないときはその理由)

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

11. 廃棄物部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○最終埋立処分施設増設工事その2 処理水面積 210,000㎡、圍繞地延長L=1300m うち 圍繞地積算補助、出来高確認および清算、雨水排水設備の数量算出、積算補助	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○埋立処分場現況調査業務 うち 処分場現況測量、空き容量の計算、搬入車両積載量現地簡易計測	→業務の積元が不明 施設の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○リサイクルプラザ利用拡大検討業務 処理能力 20t/8h/日 うち アンケート調査、リサイクル品目台帳電子化	→業務の積元があいまい 業務の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○最終処分場実施設計業務 処理容量 130,000㎡	→業務のうち実際に担当した内容が不明 担当した内容を記載してください	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○清掃工場自家発電施設基本計画策定業務 処理能力 120t/24h/日、300kwh うち 各種計算、施設設計、関連法整備状況確認、施設配置計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○リサイクルセンター管理棟建築工事 S R C 3 階建、延床面積 A=1500㎡	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○震災塵芥処理施設運営 P F I 管理業務 処理能力 600t/8h/日 各種諸元の把握・整理、測定、燃料の調達、広報対応、汚染コンテナ封印確認	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	・(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○火力発電所フライアッシュ一時滞留場増設基本計画業務 増設容量 2,000t 地盤改良計画策定、貯留管理策の検討、管理項目の設定 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○地区事業系廃棄物処理に関する検討業務 うち 地形地質条件の設定、候補地の選定、処理方法の検討に関する 各助言および技術的指導	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 R C C M を認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>再掘技術</u> ○最終埋立処分施設増設工事その2 処理水面積 210,000㎡、圍繞地延長L=1300m うち 圍繞地積算補助、出来高確認および清算、雨水排水設備の数量算出、積算補助	○ ○ 県公園・衛生局	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○埋立処分場現況調査業務 <u>処理容量11,500㎡</u> うち 処分場現況測量、空き容量の計算、搬入車両積載量現地簡易計測	○ ○ 県 ○ ○ 市	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○リサイクルプラザ利用拡大検討業務 処理能力 20t/8h/日 うち <u>リサイクルプラザ利用促進アンケート調査</u> 130人、リサイクル品目台帳電子化	(株)○ ○	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○最終処分場実施設計業務 処理容量 130,000㎡ うち <u>排水工実施設計、汚水処理施設設計</u>	○ ○ 県衛生保険局	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○清掃工場自家発電施設基本計画策定業務 処理能力 120t/24h/日、300kwh うち <u>運搬経路計算、送電施設設計、排出ガス対応に関する法整備状況確認、排ガスフィルタ構成設計</u>	○ ○ 県 ○ ○ 市	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○リサイクルセンター管理棟建築工事 S R C 3 階建、延床面積 A=1500㎡ うち <u>施工管理、現場管理、工程管理</u>	○ ○ 県 ○ ○ 市	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○震災塵芥処理施設運営 P F I 管理業務 処理能力 600t/8h/日 うち <u>日当りの処理容量の把握・整理、放射線物質測定、燃料の調達、周辺住民への広報・対応、汚染コンテナ封印確認</u>	○ ○ 県 ○ ○ 地区事業共同体	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○火力発電所フライアッシュ一時滞留場増設基本計画業務 増設容量 2,000t <u>地盤調査結果を踏まえた地盤改良計画策定、最終処分地処理能力からの貯留管理策の検討、環境管理項目の設定</u>	○ ○ 電力(株)	○ ○ , ○ ○ ○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○地区事業系廃棄物処理に関する検討業務 うち <u>放射線汚染物を知り尽くした上で行った</u> 地形地質条件の設定、候補地の選定、 <u>放射レベルに応じた</u> 処理方法の検討に関する各助言および技術的指導	○ ○ 県 ○ ○ 市	○ ○ , ○ ○ ○
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 R C C M を認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

12. 造園部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 リーダー 〇〇児童遊園工事 児童遊園 (面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実施設計補助、ワークショップ運営積算	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 台帳整理 うち 植物調査、管理樹票取り付け	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場、多目的ホール、駐車場 うち 駐車場車止め撤去 (54台分減)、舗装打替え	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所 (計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計グループ チーフ 担当技術者 〇〇団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所 (計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち 調査計画策定、施設配置計画	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園 (面積1.0ha)、噴水 (100m ²)、芝生広場 (2300m ²)、パーゴラ (3基)、ウッドデッキ (200m ²)、樹林地 (2500m ²) など	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、情報の提供手法検討、マニュアルの作成、施設・イベント案内資料の作成	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、各種公園施設N=78、各種器具N=11、各種便益施設N=7、管理施設N=6 施設計画、施設設計、施工計画	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、庭園施設、植栽 各種指導、技術的助言	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇〇設計 代表取締役 〇田〇男			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 リーダー <u>現場技術</u> 〇〇児童遊園工事 児童遊園 (面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実施設計補助、ワークショップ運営積算	〇〇〇〇 〇〇支社	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 <u>A=345ha</u> 台帳整理 うち 植物調査 <u>(踏査)</u> 、管理樹票取り付け <u>(108本)</u>	〇〇県	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場 <u>A=0.50ha</u> 、多目的ホール <u>A=230m²</u> 、駐車場 <u>A=1400m²</u> うち 駐車場車止め撤去 (54台分減)、舗装打替え	(財)〇〇研究センター	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所 (計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画 <u>うち 移植予定樹木リストの作成と移植計画策定</u>	〇〇県〇〇市	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計グループ チーフ 担当技術者 〇〇団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所 (計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち <u>利用実態調査計画策定、児童遊園の配置および器具計画</u>	〇〇県地域振興局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園 (面積1.0ha)、噴水 (100m ²)、芝生広場 (2300m ²)、パーゴラ (3基)、ウッドデッキ (200m ²)、樹林地 (2500m ²) などの <u>施工監理、出来形確認</u>	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、 <u>サイン・植栽等の準備によるバリアフリー道路情報の提供手法検討、案内図等サインマニュアルの作成、サインと植栽施工施設・イベント案内資料の作成</u>	〇〇県〇〇村	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、 <u>遊具施設N=75、休養施設N=3、健康促進器具N=11、便益施設 (トイレ、売店、車庫等) N=7、管理施設N=6</u> 施設計画、施設設計、施工計画	〇〇県〇〇事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、 <u>車庫N=2、本館橋N=1、園路184m、池N=2、A=0.32ha、植栽 (マツ、サクラ、オナギツツジほか)</u> 指導、技術的助言	〇〇観光ホテル (株)	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇〇設計 代表取締役 〇田〇男			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

13. 都市計画及び地方計画部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経歴証明書

(第1号別添4)

期間	実務経歴年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可申請書準備、許可証台帳整理	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち 各種施設データの収集・整理および台帳作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積3.3ha 市民意向調査、計画検討一式、各種要項作成、標準仕様書作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発多目的ビル4棟、商業ビル2棟 設計変更、設計変更に伴う各種許認可申請書作成	→実務経歴年数はまとめない 業務ごとの実務経歴年数が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通基礎調査、計画理念の検討、交通導線検討) うち 指導、技術的助言	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経歴を有することを確認する。	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務内容」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号別添4)

(A4)

期間	実務経歴年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 <u>現場技術</u> 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	〇〇不動産(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 <u>面積146.0ha</u> 、〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	〇〇市	〇〇〇, 〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可(<u>県道、市道</u>)申請書準備 <u>N=160</u> 、許可証台帳整理	〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画 <u>うち、老朽化施設・異具の撤去作業動線の計画、作業車両搬入設計書</u>	〇〇株	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち <u>長寿命化計画を策定するための管理器具施設データの収集・整理および台帳作成</u>	〇〇県	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡ <u>街区基礎整備工事管理、街区道路工事管理</u>	(株)〇〇総合研究所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積3.3ha 市民意向調査、 <u>エリア別供給戸数計画検討、市民数集要項作成、住字標準仕様書作成</u>	〇〇県住宅整備公社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発多目的ビル4棟、商業ビル2棟 <u>条件変更に伴う設計変更(変更設計図作成、変更全体設計書作成)、建築確認変更申請書作成、住字性能評価書作成</u>	〇〇地区市街地再開発組合	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通 <u>整備</u> の基礎調査、 <u>駅前広場理念の検討、駅前広場交通導線検討</u>) うち 指導、技術的助言	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経歴を有することに相違ないことを証明する。	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経歴であることや、技術的内容を含む実務経歴であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

14. 地質部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第1号別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 高速〇〇号線〇〇トンネル部調査業務 2種2級、調査ボーリング N=110 延長=2630m うち ボーリング出来高管理、柱状図管理および検証、現場立会	〇〇〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区地すべり防止工事(調査業務委託) うち ボーリング機器設置	〇〇〇〇	→業務の積元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区治山事業調査業務 地下探査、載荷試験3箇所 うち 電気探査機器の運搬、測量機材運搬および設置	〇〇〇〇	→業務の積元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇線ふるさと林道緊急整備工事調査業務 調査ボーリング7本延長48m、標準貫入試験24回、現場透水試験6箇所、 地下水検層6箇所	〇〇〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区地すべり防止調査等業務 A=4.2ha うち 解析3断面、各種設計、控え杭検討、水抜きボーリング配置検討 および流末処理計画	〇〇〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 一般国道〇〇号道路改良工事に伴う地質調査業務委託 3種2級 機械ボーリング(18本延長500m)、スウェーデン式サウンディング(10 箇所)	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇河川堤防詳細点検 〇〇水系一級河川〇〇川 機械ボーリング(45本延長420m)、各種現場試験(103回)、土質試験、 機構解析、地質構造図作成	〇〇〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇港清走路延長部埋め立て工事に伴う地質調査業務 ボーリング22本計119m、サンプリング8本 圧縮試験8試料、圧密試験8試料、沈下量解析、促進工法3種提案 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇団地〇〇台3丁目造成事業設計業務 A=4.5ha 機械ボーリング40本延長270m、解析20断面、圧縮試験20試料、液状化解 析、報告書執筆の各技術指導および助言	〇〇〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのが具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務内容を詳細に記載すること。
2 R C C Mを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務内容を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号別添4)

(第1号別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現地技術 高速〇〇号線〇〇トンネル部調査業務 2種2級、調査ボーリング N=110 延長=2630m うち ボーリング出来高管理、柱状図管理および検証、現場立会	〇〇公団 〇〇支社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区地すべり防止工事(調査業務委託) 調査ボーリング(0本延長15m) うち ボーリング機器設置	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区治山事業調査業務 電気探査40m、平地載荷試験3箇所 うち 電気探査機器の運搬、測量機材運搬および設置	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇線ふるさと林道緊急整備工事調査業務 調査ボーリング7本延長48m、標準貫入試験24回、現場透水試験6箇所、 地下水検層6箇所 うち ボーリング調査箇所の検討	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区地すべり防止調査等業務 A=4.2ha うち 斜面安定 解析3断面、 アンカー工 の設計、 管状杭 設計、控え杭 検討、水抜きボーリング配置検討および流末処理計画	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 一般国道〇〇号道路改良工事に伴う地質調査業務委託 3種2級 機械ボーリング(18本延長500m)、スウェーデン式サウンディング(10 箇所) うち、現場整理、出土形確認	〇〇国道事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇河川堤防詳細点検 〇〇水系一級河川〇〇川 機械ボーリング(45本延長420m)、標準貫入試験(103回)、土質試験 (土質データの密着試験10試料、含水比試験10試料、圧密試験13試料、 土圧計9試料) 、機構解析、地質構造図作成	〇〇河川事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇港清走路延長部埋め立て工事に伴う地質調査業務 地上ボーリング22本計119m、シリンダーサンプリング8本 3種圧縮試験8試料、圧密試験8試料、圧密沈下量解析、圧密促進工法3 種提案	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇団地〇〇台3丁目造成事業設計業務 A=4.5ha 機械ボーリング40本延長270m、 解析20断面、2種圧縮試験20 試料、液状化解析、報告書執筆の各技術指導および助言	(株)〇〇不動産	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ない
ことを証明する。
平成〇年〇月〇日
証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男

証明者と被証明者との関係
(証明を得ることができないときはその理由)

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 R C C Mを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務内容を記載すること。

15. 土質及び基礎部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 支社長補佐 〇〇工区土壌調査 調査ボーリング48箇所(延700m)、水質調査23箇所、標準貫入試験360回、サンプリング30個、現場透水試験6回 発注積算資料作成補助、清算書検算、請求書記載内容確認	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 〇〇課 研修社員 補助作業員 主要地方道〇〇線道路改良工 うち ボーリング作業補助、傾斜計設置測量	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 職長 作業員 〇〇総合流域防災事業(傾斜) 重力式擁壁 うち 仮設工測量、現場測量、完了検査立会	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 主査 補助技術者 〇〇急傾斜地崩壊対策工事 水抜きボーリング 5本 延長計150m	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術計画課 課長補佐 担当技術者 〇〇支所敷地調査業務 敷地測量900㎡、ボーリング4本(延<50m) うち 標準貫入試験47回、室内試験、地盤解析 土質定数の検計、報告書執筆	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 主任 現場代理人 一般県道〇〇線付帯機能代替施設設計業務 道路横断農業排水路(BOXカルバート B2500×H2000、L=23m)、基礎杭工(PCφ300mm、L=6.5m)	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 管理技術者 〇〇施設ストックマネジメント事業 L型水路(B3.75m×H1.0m、L=300m) 土質ボーリングL=15m×2箇所、基礎処理工法の検計一式	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 照査技術者 〇〇道路拡幅工事詳細設計業務 盛土H=5.3m B=4~17(拡幅部盛土底幅) 対策設計、安全率の計算、深層混合工法の検計 (株)〇× 設計部 参与 技術総括 〇〇自動車道基礎材料検計業務 1種3級 L=1.3km B=11m 試験一式、室内試験、地下水位解析、各種解析指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	このように記載の場合 は経歴として評価されない、または低減して評価されることがあります!		

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 支社長補佐 <u>現場技術</u> 〇〇工区土壌調査 調査ボーリング48箇所(延700m)、水質調査23箇所、標準貫入試験360回、サンプリング30個、現場透水試験6回 発注積算資料作成補助、清算書検算、請求書記載内容確認	〇〇県〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 〇〇課 研修社員 補助作業員 主要地方道〇〇線道路改良工事(L=1.0km、W=6.0m、3種3級)ボーリング3本延30m、3内傾斜計10箇所 うち ボーリング作業補助、傾斜計設置測量	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 職長 作業員 〇〇総合流域防災事業(傾斜) 重力式擁壁 <u>高さH=2.0~5.0m、延長L=310m</u> うち 仮設工測量、現場測量、完了検査立会	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 主査 補助技術者 〇〇急傾斜地崩壊対策工事 水抜きボーリング 5本 延長計150m うち 斜面对策工・車扱設置場の構造検計、水抜き管改修試験(漏水防止のため重保護管(φ40mm、φ30mm)の提案)	〇〇県〇〇地域振興局土木部〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術計画課 課長補佐 担当技術者 〇〇支所敷地調査業務 敷地測量900㎡、ボーリング4本(延<50m)うち 標準貫入試験47回、室内試験(土の細粒分含有率試験、 <u>一軸圧縮試験</u>)、地盤解析 土質定数(C、φ)の検計、報告書執筆	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 主任 現場代理人 一般県道〇〇線付帯機能代替施設設計業務 道路横断農業排水路(BOXカルバート B2500×H2000、L=23m)、基礎杭工(PCφ300mm、L=6.5m) <u>施工監理、出来形確認、検査立会</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 管理技術者 〇〇施設ストックマネジメント事業 L型水路(B3.75m×H1.0m、L=300m) 土質ボーリングL=15m×2箇所、 <u>軟弱基礎地盤の变形と沈下解析による基礎処理工法(深層攪拌、ドレーン、深層工法)の検計</u>	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 照査技術者 〇〇道路拡幅工事詳細設計業務 道路新設盛土H=5.3m B=4~17(拡幅部盛土底幅) <u>盛土による軟弱粘性土層の沈下対策設計、沈下安全率の計算、セメントミキシルによる深層混合工法の検計</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 参与 技術総括 〇〇自動車道基礎材料検計業務 1種3級 L=1.3km B=11m <u>試験一式、室内試験、<u>圧縮試験</u>、<u>三軸圧縮</u>、土質定数検定(C、φ)</u> 、地下水位解析、 <u>四極弾力解析</u> 指導、技術的助言	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由) ※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。		

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

16. 鋼構造及びコンクリート部門

(第1期別添4)

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

天 枋 柱 限 有 限 公 司

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇頭首工実施設計 2級河川〇〇川 鋼製起伏式ゲート L=7.3m×3門 (25.2m) H=1.7m うち 協議図面作成、協議実施 (説明者補助)	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 国道〇〇号 (〇〇橋) 橋梁震災対策設計 (歩道) うち 現況調査 (橋梁劣化状況確認L=15.6m)、調査台帳入力	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川通常砂防調査設計砂防堰堤詳細設計 (重力式コンクリートダム) うち 平面測量A=2400㎡、現地踏査、試験場3箇所	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇駅地下歩行者道詳細設計業務 鋼製カルバートH3.0m×B6.5m L=35m	→業務のうち実際に担当した内容が不明 担当した内容を記載してください		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長補佐 担当技術者 〇〇漁港開閉門扉更新設計業務 鋼製横引き門H=4m W=18m、6m×2箇所、遮断操作装置 うち 施設設計、耐震性能評価、事業計画、門扉耐塩塗料の検討 (有機系)	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県道〇〇線特殊改良第一種工事 L=45m W=16m 4種3級、路側擁壁工 (コンクリートもたれ式擁壁) L=31m H=2.5~5.5m V=490.4m ²	→業務内容が不明 業務内容が把握できません		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 プレテンション単純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、橋台2基 各種設計、施工時における仮設構造物検討一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません		
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 市道田国道〇〇号線道路詳細設計 3種4級 コンクリート管渠W=1.5m H=1.2m L=15.0m、PC床板W=2.9m L=10.5m 管渠詳細設計、床版詳細設計、地盤対策検討 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 汚水処理施設実施設計業務 汚水処理水槽 容量223m ³ (据付機器を除く躯体のみ) 実施設計 (詳細設計) の指導、技術的助言	→業務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください		
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は業務上の立場等を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

(第1期別添4)

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

用紙A4)

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇頭首工実施設計 2級河川〇〇川 鋼製起伏式ゲート L=7.3m×3門 (25.2m) H=1.7m うち 協議図面作成、協議実施 (説明者補助)	〇〇県〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 国道〇〇号 (〇〇橋) 橋梁震災対策設計 (歩道) <u>3種2級 延長</u> <u>L=15.6m W=3.3m (プレテンPC単純中空床板橋) 耐震L<4.1?</u> うち 現況調査 (橋梁劣化状況確認L=15.6m)、調査台帳入力	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川通常砂防調査設計砂防堰堤詳細設計 <u>H=12.5m W=30.0m</u> (重力式コンクリートダム) うち 平面測量A=2400㎡、現地踏査、試験場3箇所	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇駅地下歩行者道詳細設計業務 鋼製カルバートH3.0m×B6.5m L=35m <u>うち、土留工設計 (鋼製土留め) H=8.0m、地下埋設管・破産物調査 (台帳調査およびレーザ読取)</u>	〇〇県〇〇振興局土木部 〇〇課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長補佐 担当技術者 〇〇漁港開閉門扉更新設計業務 鋼製横引き門H=4m W=18m、6m×2箇所、遮断操作装置 うち <u>水密シール設計、耐震性能評価 (レベル2)、RC計画、門扉耐塩塗料の検討 (有機系)</u>	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県道〇〇線特殊改良第一種工事 L=45m W=16m 4種3級、路側擁壁工 (コンクリートもたれ式擁壁) L=31m H=2.5~5.5m V=490.4m ² <u>うち、現場施工管理 住居対応 (説明会、見学会を含む)</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 プレテンション単純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、 <u>重力式橋台2基 橋梁詳細設計、工法詳細設計、工事現場踏査、仮設構造物設計</u>	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 市道田国道〇〇号線道路詳細設計 3種4級 <u>農業用水路箱型</u> コンクリート管渠W=1.5m H=1.2m L=15.0m、 <u>道路部出PC床板W=2.9m L=10.5m</u> 管渠詳細設計、床版詳細設計、 <u>軟弱地盤対策検討</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 汚水処理施設実施設計業務 汚水処理水槽 <u>(鉄筋コンクリート造)</u> 容 量223m ³ (据付機器を除く躯体のみ) 実施設計 (詳細設計) の指導、技術的助言	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。
証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男
証明者と被証明者との関係 (証明を行)

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は業務上の立場等を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

17. トンネル部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

天 務 経 験 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇交差点歩行者専用横断トンネル調査設計業務 3種1級 L=32m うち 工数量算出、協議図面作成、協議実施(説明者)、住民ヒアリング同席	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇トンネル補修設計業務 うち 現況調査(トンネル劣化状況確認)、点検マニュアル案作成	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇共同溝詳細設計業務 H=2.5m B=6.0m L=1100m うち 平面測量L=1900m、地質調査11箇所、試験場6箇所	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇環状道路(〇〇地区)施工計画検討業務 4種2級 開削半地下式トンネル L=780m B=48m(側道合流部を含む) 逆巻き工法 連続地中壁	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線道路設計業務 3種3級 W=10m トンネル延長1300m、NATM工法 うち 各種施設および機器設計、換気計画検討および設備設計	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 広域下水〇〇幹線第3期工事 掘削深18~33m φ2.2m L=2300m、シールド掘進(一部鋼製セグメント)	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇国〇〇市地下鉄建設プロジェクト 〇〇駅東側北向シールド機掘進および換気立坑建設(φ40m×H40m)、連続地中壁(壁厚1.0m、岩着)、逆巻き工法 施工計画、仮設構造物設計、地下水対策検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄〇〇線延伸事業 複線4.2km 3駅、土圧バランスシールド工法 PCセグメント(内径5.7m) 設計照査、品質管理、施工計画審査及び施工管理	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム仮排水路トンネル(上部半円下部矩形、B=3m、H=3m、L=820m) 掘削ルート計画検討、覆工設計(巻厚500mm)、地盤改良材設計(注入圧20kgf/cm ²) うち 計画作成指導、技術的助言	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	〇〇 〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現法技術 〇〇交差点歩行者専用横断トンネル調査設計業務 3種1級 L=32m うち 工数量算出、協議図面作成、協議実施(説明者)、住民ヒアリング同席	〇〇県道路部	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇トンネル補修設計業務 1種2級 うち 現況調査(トンネル劣化状況確認 ^{L=15.6m})、点検マニュアル案作成	〇〇県〇〇土木事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇共同溝詳細設計業務 H=2.5m B=6.0m L=1100m 新オーブンシールド工法 プラスチックス部材使用 うち 平面測量L=1900m、地質調査11箇所、試験場6箇所	〇〇局〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇環状道路(〇〇地区)施工計画検討業務 4種2級 開削半地下式トンネル L=780m B=48m(側道合流部を含む) 逆巻き工法 連続地中壁 うち 掘削する地下鉄トンネルへの影響検証	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線道路設計業務 3種3級 W=10m トンネル延長1300m、NATM工法 うち 照明施設設計、非常用施設設計、換気計画検討および設備設計	〇〇県〇〇地域振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 広域下水〇〇幹線第3期工事 掘削深18~33m φ2.2m L=2300m、シールド掘進(一部鋼製セグメント) 現場加工管理(埋設管終設及び切戻し工、地中連続壁(600)ガイドケーブル構築)、住民対応(説明会)	〇〇県東部上下水道公社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇国〇〇市地下鉄建設プロジェクト 〇〇駅東側北向シールド機掘進および換気立坑建設(φ40m×H40m)、連続地中壁(壁厚1.0m、岩着)、逆巻き工法 掘削施工計画、シールド機掘進反力設計、地下水対策検討	〇〇国都市鉄道省	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄〇〇線延伸事業 複線4.2km 3駅、土圧バランスシールド工法 PCセグメント(内径5.7m) セグメント設計照査、セグメント製作品質管理、シールドトンネル施工計画審査及び施工管理	〇〇電鉄(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム仮排水路トンネル(上部半円下部矩形、B=3m、H=3m、L=820m) 掘削ルート計画検討、覆工設計(巻厚500mm) グラウチング設計(注入圧20kgf/cm²) うち 計画作成指導、技術的助言	〇〇県農林振興局	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。
証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)

平成〇年〇月〇日
証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第
別添

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇トンネル機能改善工事調査設計業務 1種2級 L=130m B=9m (上下線) うち 現地調査(照明施設調査、交通安全施設調査、覆工調査)、数量算出 工事図面作成 積算資料作成	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 広域林道〇〇線道路詳細設計業務 うち 現地調査及び図面作成補助	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区現場技術業務 〇〇地区海岸保全事業 離岸堤 平均水深6m、捨石工、吸出し防止マット工 うち 現地調査(浅深・汀線測量)及び積算資料作成	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇団地内〇〇号道路改良工事その11ほか 4種4級 合計L=520m、 W=5.0m(側溝を除く) 排水性舗装	→業務のうち実際に担当した内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 主任 担当技術者 〇〇橋梁架設復旧工事 道路橋(PCプレテンホロー桁) 橋長 L=12.3m、W=14.0m うち 盛土設計および土砂運搬計画策定、各種配筋図作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇川堤防耐震化工事 〇〇水系2級河川〇〇川 右岸L=220m H=3.5 ~4.0m	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 耐震性鋼主桁プレテンション単 純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、重力式橋台2基、免震ゴム支承 詳細設計、工法の検討、各種環境影響検討一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇空港拡張工事施工管理基準検討業務 A滑走路南方延伸400m(付 帯施設を除く) 空港の通常営業への影響を考慮した検討、環境影響評価 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム転流工事 〇〇水系2級河川〇〇川 重力式 高さ8m CoV=380m ³ うち 設計指導、施工計画の立案指導、計画策定への助言	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号
別添4

(A4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇トンネル機能改善工事調査設計業務 1種2級 L=130m B=9m (上下線) うち 現地調査(照明施設調査、交通安全施設調査、覆工調査)、数量算出 工事図面作成 積算資料作成	〇〇省〇〇河川道路事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 広域林道〇〇線道路詳細設計業務 <u>L=324m、W=12.0m 設計速度 40km/h</u> うち 現地調査及び図面作成補助	〇〇県営林産業振興局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区現場技術業務 〇〇地区海岸保全事業 <u>離岸堤架設L=60m B=35m(基部最大幅)</u> 平均水深6m <u>3基</u> 、捨石 工、吸出し防止マット工 うち 現地調査(浅深・汀線測量)及び積算資料作成	〇〇局〇〇事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇団地内〇〇号道路改良工事その11ほか 4種4級 合計L=520m、 W=5.0m(側溝を除く) 排水性舗装 うち <u>現場打ち型側溝(L=105m)の各品質管理項目検討、出来高管理 計画 検査完了</u>	〇〇県〇〇町	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 主任 担当技術者 〇〇橋梁架設復旧工事 道路橋(PCプレテンホロー桁) 橋長 L=12.3m、W=14.0m うち <u>橋台基礎盛土設計および土砂運搬計画策定、橋台および下 部工配筋図作成</u>	〇〇県〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇川堤防耐震化工事 〇〇水系2級河川〇〇川 右岸L=220m H=3.5 ~4.0m うち <u>工期管理、現場安全管理、作民啓蒙の実施(説明者)、検査社 監</u>	〇〇県東整備事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 耐震性鋼主桁プレテンション単 純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、重力式橋台2基、免震ゴム支承 <u>構造詳細設計、工法の検討、<u>側溝を含み排水処理方法</u>の検討</u>	〇〇県〇〇農業振興事務 所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇空港拡張工事施工管理基準検討業務 A滑走路南方延伸400m(付 帯施設を除く) 空港の通常営業への影響を考慮した <u>施工管理規格の変更検討、延滞 方向付帯帯への施工時の環境影響評価</u>	〇〇県〇〇空港港湾局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム転流工事 〇〇水系2級河川〇〇川 重力式 高さ8m CoV=380m ³ うち <u>コンクリート打設設備の設計指導、施工計画の立案指導、<u>並 列RCC</u>計画策定への助言</u>	〇〇県〇〇市	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に關し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的に詳細に記載して下さい。

19. 建設環境部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

天 務 経 験 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 〇〇都市高速音壁詳細設計 ○〇号線 2種1級 L=830m、透過型光 触媒音壁(上下線左右)H2.5m うち 音壁一般図作成、数量計算、施工工程検討、住民説明資料作 成	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇ダム流量観測及び水質調査業務委託 うち 平時水質調査4地点×12回、高水時水質調査2地点×5回、底質 調査2地点×2回(全て船上調査)	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 一般国道〇〇号単車道路調査「測量及び調査委託」1種3級 うち 騒音調査機器設置及び観測作業6箇所、交通量測定	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 県営〇〇地区農免農道整備関連河川水辺環境調査「生物調査」業務 設計速度40km/h L=4.5km、2級河川〇〇川 L=1.0km	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港高度利用促進工事「底質調査委託」 調査対象面積 A=0.72km ² (水+陸合計) うち 底質調査11所、底質分析 面積0.25km ² 、水深3m~10m、海洋環 境影響予測	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇市平成〇〇年度堆雪場基礎整備工事 A=7.3ha 計画堆雪高 最 大H=8.0m、搬入口 4箇所	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 大気等常時観測業務 管内20局(浮遊物質、化学物質、騒音、気温、 湿度、日射量)、対象面積A=3km ² 計測機器の管理及びデータ整理(隔週)、コンター図作成(毎月)	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 相談役 照査技術者 水辺再生基本計画策定業務委託 ○〇水系2級河川〇〇川〇〇地区右 岸高水敷A=1.2ha、下水処理場再生水L=130m、スロープ及びテラス N=1、基本計画策定、水質管理項目決定	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 監査役 技術統括 〇〇空港新滑走路運用に伴う航空機騒音測定及び対策検討業務 滑走 路延長L=1800m 離着陸1800回/年、空港周辺3地点騒音計測、環境基 準に関する指導、騒音対策案の策定方策指導	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 理地技術 〇〇都市高速音壁詳細設計 ○〇号線 2種1級 L=830m、透過型光 触媒音壁(上下線左右)H2.5m うち 音壁一般図作成、数量計算、施工工程検討、住民説明資料作 成	〇〇都市高速第〇〇区維 持管理センター	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇ダム流量観測及び水質調査業務委託 多目的ダム 遼水面積 1.83km² 挑高12.0m うち 平時水質調査4地点×12回、高水時水質調査2地点×5回、底質 調査2地点×2回(全て船上調査)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 一般国道〇〇号単車道路調査「測量及び調査委託」1種3級 L=9.0km うち 騒音調査機器設置及び観測作業6箇所、交通量測定 5箇所	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 県営〇〇地区農免農道整備関連河川水辺環境調査「生物調査」業務 設計速度40km/h L=4.5km、2級河川〇〇川 L=1.0km うち 道路工事前の地区内および河川内オオサンショウウオの生息状 態調査及び捕獲・保護 報告書執筆	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港高度利用促進工事「底質調査委託」 調査対象面積 A=0.72km ² (水+陸合計) うち 底質調査11所、底質分析 (海洋汚 染項目) 面積0.25km²、水深3m~10m 調査結果に基づき漁港工事に 伴う海洋環境影響予測	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇市平成〇〇年度堆雪場基礎整備工事 A=7.3ha 計画堆雪高 最 大H=8.0m、搬入口 4箇所 搬入物の流出防止柵地帯および補修柵設置、前田集約防止柵設置 (L=350m、H=8m)、搬入口下り取除工、現場監理	〇〇市〇〇維持管理局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 大気等常時観測業務 管内20局(浮遊物質、化学物質、騒音、気温、 湿度、日射量)、対象面積A=3km ² 計測機器の 維持管理及び観測データ整理(隔週)、観測データの解析 結果を用いた大気汚染物質濃度コンター図作成(毎月)	〇〇局〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 相談役 照査技術者 水辺再生基本計画策定業務委託 ○〇水系2級河川〇〇川〇〇地区右 岸高水敷A=1.2ha、下水処理場再生水 による排水せき止め整備 L=130m、スロープ及びテラスN=1、 〇〇地区高水敷の利用基本計画策 定、せき止め等の水質管理項目決定(水質、水辺、水景)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 監査役 技術統括 〇〇空港新滑走路運用に伴う航空機騒音測定及び対策検討業務 滑走 路延長L=1800m 離着陸1800回/年 空港周辺3地点騒音計測、環境基準との比較評価 および結果の経歴に 対する指導、騒音対策案の策定方策指導	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

20. 機械部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○川河川事務所管内樋門電動化工事 86箇所 うち 電動装置購入積算、フレメータ施設数量算定および積算、ロ ガー機器購入手続き補助、CCTV装置18基および中央監視装置積算	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○式自立型ブルドーザ性能試験 うち 燃料消費量試験、試験記録(出来形を含む)の整理	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係員 作業員 国道○○号線○号スノーシュー除雪機器整備業務 うち 除雪車4台の整備と消耗部品交換、管内自発光式エリミネータ 動作確認、ヒーティング動作確認、融雪剤自動散布機動作確認、消し め砂補充	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係長 補助担当者 ○道路詳細設計業務 3種5級 W=10m、L=250m	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○ダムCSG骨材プラント設備計画 台形CSG式ダム H=16m V =15000㎡ うち 各種設備の設計 A=300㎡	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○電鉄○保線区保線工事 管理延長複線23km	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○自動車道○トンネル気設備更新設計業務 設備撤去計画一式、各種計画および使用機材選定、環境項目計測機器 配置計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	・(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○河川国道事務所管理用電気通信施設設計業務 ○○岳泥流監 視施設用予備電源設備(10kVA×1台)24時間連続運転 予備電源設計、各種監視システム詳細設計、警報基準の設定、会議用 資料作成 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○川排水機械設備詳細設計業務 ポンプ(64kw、φ400×3台)、自家発電(75kVA×1台)、水門設計一 式、巻上げ機設計、遠隔監視設備各詳細設計	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄を、工事の調査、設計、監理等の業務に、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> ○川河川事務所管内樋門電動化工事 86箇所 うち 電動装置購入積算、フレメータ施設数量算定および積算、ロ ガー機器購入手続き補助、CCTV装置18基および中央監視装置積算	○川河川事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○式自立型ブルドーザ性能試験 <u>3台、GPS測位、J.P.補正</u> うち 燃料消費量試験、試験記録(出来形を含む)の整理	(独)○研究所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係員 作業員 国道○○号線○号スノーシュー除雪機器整備業務 うち <u>除雪用ロータリー式</u> 除雪車4台の整備と消耗部品交換、管内自 発光式エリミネータ動作確認 <u>12基</u> 、ヒーティング動作確認 <u>23箇所</u> 、 融雪剤自動散布機動作確認 <u>16基</u> 、消しめ砂補充	○国道事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係長 補助担当者 ○道路詳細設計業務 3種5級 W=10m、L=250m <u>うち、路床および路盤工事におけるグレーダーの機材選定(セルト機 材)、使用計画</u>	○道路(株)	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○ダムCSG骨材プラント設備計画 台形CSG式ダム H=16m V =15000㎡ うち <u>骨材破砕設備および骨材洗浄設備の設計 A=300㎡</u>	○県農林水産・山間地 振興局	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○電鉄○保線区保線工事 管理延長複線23km <u>うち、マルチプラットフォームによる施工監理、レール研削機による 施工監理、間切住居対応</u>	○電鉄保線工務部	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○自動車道○トンネル気設備更新設計業務 <u>構造トンネル排気設備撤去計画、除塵機撤去計画、ジェット気流計 画および機材選定、坑口環境項目計測機器配置計画</u>	○道路会社(株)	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○河川国道事務所管理用電気通信施設設計業務 ○○岳泥流監 視施設用予備電源設備(10kVA×1台)24時間連続運転 予備電源設計、 <u>遠隔監視設備</u> および <u>伝送システム</u> 詳細設計、警報基準の 設定、 <u>管内自治体連合会議用資料作成</u>	○河川国道事務所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○川排水機械設備詳細設計業務 <u>ポンプ(64kw、φ400×3台)、自家発電(75kVA×1台)、門柱 および水門基礎設計、巻上げ機設計、遠方監視機作組設備およびC TV設備詳細設計</u>	○県東部県土整備事務 所	○○, ○○○
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

21. 電気電子部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇市防災無線維持管理・更新工事 防災無線鉄塔 N=12 最大H=18m、防災無線コンクリート柱 N=23 H=9m 鉄塔防錆材塗布量積算および出来高管理、放送スピーカ更新設計図書作成補助、テレメータ機器設計図書作成補助	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇自動車道〇〇トンネル非常用通信設備設計業務 うち 非常電話設置位置の検討、電源供給ルートの検討	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇河川事務所テレメータ設備維持管理業務 CCTVカメラ、各種水文観測機器計40基、マイクロ受信機 うち 電気通信設備台帳整理	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇河川監視設備設計業務 〇〇水系一級河川〇〇川	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇道路電気施設設計業務 1種3級 L=630m うち トンネル電気設備の設計一式	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 道の駅〇〇道路交通情報表示板設置工事 N=1	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇市役所BCP計画策定 震災に対応した設備の強化課題の検討、通信網の多ルート化の検討、非常用設備の耐震化検討、各種調達計画策定、広域計画策定	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇道路事務所管内道路橋維持補修計測システム検討業務 センサを用いた鋼構造物の計測システムの検討、構造物の状況の連続計測の検討 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇駅ホームドア設置に伴う位置停止支援装置設計委託 位置停止装置の調整法に関する技術支援および助言、停止位置修正のための情報フィードバック方式助言	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その業務内容を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 理想技術 〇〇市防災無線維持管理・更新工事 防災無線鉄塔 N=12 最大H=18m、防災無線コンクリート柱 N=23 H=9m 鉄塔防錆材塗布量積算および出来高管理、放送スピーカ更新設計図書作成補助、テレメータ機器設計図書作成補助	〇〇県〇〇市役所〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇自動車道〇〇トンネル非常用通信設備設計業務 1種3級 L=630m うち 非常電話設置位置の検討、電源供給ルートの検討	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇河川事務所テレメータ設備維持管理業務 CCTVカメラ 14台 、 水位計14基 、 雨量計18基 、 積雪計8基 、マイクロ受信機 うち 電気通信設備台帳整理	〇〇河川事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇河川監視設備設計業務 〇〇水系一級河川〇〇川 うち CCTVカメラの機器選定9基(うち3基照像付) 、 単ケーブル取付監視カメラ設計 1=7m 、 情報コンセント設置設計 N=36	〇〇河川国道事務所〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇道路電気施設設計業務 1種3級 L=630m うち トンネル 照度設備(H10) 、 高圧受配電設備 の設計	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 道の駅〇〇道路交通情報表示板設置工事 N=1 室内回線〇〇軒に關する情報表示板設置工施工監理、安全対策設計	〇〇局〇〇部	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇市役所BCP計画策定 震災に対応した 電気通信設備 の強化課題の検討、 多基無線通信網 の多ルート化の検討、 非常用設備および監視カメラ の耐震化検討、 燃費 調達計画策定、 収容容量に基づく広域計画 策定	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇道路事務所管内道路橋維持補修計測システム検討業務 並ワイヤレスセンサ を用いた鋼構造物の 応力 計測システムの検討、 並ケーブルセンサ を用いた構造物の 歪み 計測システム、 亀裂、破断 の連続計測の検討	〇〇道路事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇駅ホームドア設置に伴う位置停止支援装置設計委託 工場の間における 位置停止装置の調整法に関する技術支援および助言、 過走時における 停止位置修正のための情報フィードバック方式助言	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その業務内容を詳細に記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。